

全校集会 校長講話（7月6日）

テーマ：自分を伸ばす「あこがれ」の力

おはようございます。

1学期も、いよいよあと2週間となりました。先週は期末テストの振り返り期間でしたが、返ってきた「自分自身の取扱説明書」をじっくり見つめ直し、自分の「伸びしろ」に真っ直ぐ向き合うことはできたでしょうか。

さて、4月の入学式や始業式で、先生は皆さんに「中学校生活を通して、自分の『好き』を育み、『得意』を伸ばして行ってほしい」という話をしました。

実は先日、ある学級で書いた「1学期の振り返り」の作文を読ませてもらう機会があったのですが、そこには、まさにその「好き」や「得意」が素晴らしい形で芽吹いている言葉が書かれていました。あまりにも素敵だったので、全校の皆さんに紹介します。

「できなかったことができるようになり、達成感を味わえたり、友達と協力する力が身についたりする体育。このような体育はとても大切な教科です。」

先生はこの文章を読んだとき、本当に嬉しくて、胸が熱くなりました。

この生徒は、ただ「体を動かすのが楽しい」というだけではなく、授業という「頭と体の筋トレ」を通して、「挑戦すれば、できなかったこともできるようになるんだ」という確かな自信や、「仲間と協力することの素晴らしさ」を、自分自身の力で掴み取っているのです。これこそが、世界に一つだけの「自分自身の取扱説明書」を、最高の方法で書き進めている姿です。

学校生活のなかでは、勉強が思うようにいかなかったり、友達とうまくいかなかったりして、心が折れそうになることが誰にでもあります。でも、この振り返りのように、「できなかったことができるようになる楽しさ」を知っていれば、皆さんはどんな壁も乗り越えていくことができます。そして、この作文には、先生がもう一つ、嬉しかった言葉が書かれていました。

「先生は、正解したから終わるのではなく、生徒の意見一つ一つを尊重してくれます。」「将来は先生のようになりたいです」と。

皆さんの「好き」や「得意」を引き出し、達成感を味わえるまでそばで全力で支えてくれる先生方は、ただ教科書を教えているだけの人ではありません。皆さんが「あんな大人になりたいな」と心から憧れるような、そして皆さんの可能性を誰よりも信じて伴走してくれる、世界に一人だけの「パーソナルトレーナー」です。一人で壁を乗り越えられない時は、いつでもこの頼もしい、そしてあこがれのトレーナーである先生方を大いに頼ってください。

1学期の残りの2週間。ぜひ日々の授業や日常のなかで、「今日の授業で、どんな達成感を味わえるだろう？」と、ワクワクしながら過ごしてみてください。自分で決めて、仲間と協力して、あこがれの先生たちと一緒に一歩前へ挑む。そんな格好いい「当事者意識」を持った皆さんと、頼れる先生方と一緒に、一学期の最高の締めくくりを創り上げていきましょう。

以上で、先生の話が終わります。